

新・天の神々たち



プロローグ／冒険の目的

ソーサリアンオリジナルの同名のシナリオに沿うため、省略しています。



本シナリオのポイント

- ソーサリアンのオリジナルより「天の神々たち」リメイクシナリオです。オリジナルの粗筋、雰囲気はそのままに、どこまで新規層に向けたゲーム性を付与できるかに挑戦したシナリオです。
- 従来のアイテムや登場人物をそのままに、新たに追加されたイベント、シカケを楽しんでいただければと思います。



舞台

全体のマップ構造は、map.ppt P.1 を参照してください。

今回は比較的シンプルなマップ構造であることから、シカケの補足説明のみで、細部マップは省略しております。ご了承ください。



ストーリー

[1] スタート地点（ふもとの村）にて

村の人々から情報収集を開始。

◆ 酒屋のおやじ

おやじ	<p>やあ、こんにちは。こんな辺鄙な村にようこそ。</p> <p>わしは、このさかやの主人だが、あいにく売るものはなにもないよ。</p> <p>大いなる神ユイターが怒って以来、酒がなかなか手に入らなくなってね……</p>
-----	--

◆ ドロで汚れた少女（道端にて）

少女	<p>神様がお怒りになったの。お酒や食べ物をあげたのに怒ったままなの。</p> <p>巫女さんは、あたし達の心が曇ってるからお怒りになったんだって言うの……</p>
----	--

◆ 民家（ベッドに横たわった老爺&老婆）

老爺	<p>大いなる神ユイターの怒りは、疫病をも振りまいたのじゃ……</p> <p>60年の連れも、昨晚、ひと足先に逝ってしまったよ。</p> <p>すまんが、最期くらいはそっとしておいてはくれんかの……</p>
解説	<p>黒い斑点が顔中に浮かびあがっている。もう手のほどこしようはなさそうだ。</p>

傍らのベッドを調べると…

解説	<p>老婆の方は、呼びかけても反応はない。</p> <p>もう死んでいるようだ。死臭が軽く鼻をついた。</p>
----	---

◆ 宿屋の主人

主人	<p>よそ者がうちになんの用だ！？用がないなら、早く出ていきな！</p>
----	--------------------------------------

宿の奥には、大きなガマガエルが座っている。近づくと…

ガマ	なによ、おまえは！ひとのうちに勝手に入らないで！
ソーサリアン	ガマが喋った…！？
主人	俺の、娘に近寄るな！
ソーサリアン	娘……！？
主人	娘は、リーザは…神に貢ぎ物を届けに行っただけなんだ。 それなのに、帰ってきたときにはガマの姿に変えられてしまっていたんだ…… いったい、神々に娘がなにをしたっていうんだ……
ガマ	帰って！帰ってちょうだい…！

ガマがソーサリアンに＜大鍋＞を投げつける。

ソーサリアン	……ッ！
解説	＜大鍋＞を手に入れた
主人	さあ、分かっただろう。 俺たちは、もう誰とも話したくないんだ。帰ってくれ…なあ、頼むよ…

◆空家

解説	家の中に人影はない。 家具もほとんど残っており、持ち主はよほど慌てて出ていったようだ。
----	--

◆空家 2

解説	空家……ではないようだ。 奥に、戦士らしい男が血を流しながら、苦しそうに蹲っている
----	--

近づいて話しかけると。

戦士	ユイターが怒りに我を忘れて以来、聖地たる＜神々の庭園＞も荒れ果ててしまった。 魔性が巢食い、民草を襲う危険な版図と化してしまったのだ。 神の怒りを解かんと、最後のお勤めのつもりでやってきたが… 仲間たちは散り散りとなり、私もこのありさまだ
戦士	もしも＜神々の庭園＞に向かうならば、魔物どもには気をつけるがいい。 神々の恵みが溢れた＜神々の庭園＞も、いまや魔の巣窟となっておるでな。 …死ぬで、ないぞ……

◆麦畑

麦は枯れて畑は荒れ果てている。畑の隅に農夫が呆然と立っている。

農夫	収穫の季節なのに、すべての麦が枯れちゃっただ。 これも神の怒りだというのかね。 冬を越す食料もなければ、ここを逃げ出す金もねえ。 ここに残っているのは、そんな奴らばかりよ。
----	---

麦畑の隅を探すと…

解説	＜赤い種＞を見つけた。
農夫	ん？ なんだ＜ユイターの杖＞か。 ああ、もってけもってけ。 ＜ユイターの杖＞などとたいそうな名前はついてるけどよ。 油断してると、天まで伸びて作物をみんな薙ぎ倒しちゃうのさ。 忌々しい植物さ。

◆巫女

巫女	神は怒っておられます。日頃の邪な行いに、業を煮やしてしまったのです。 祈りは既に通じません。欲を捨て、私のもとにすべての財産を預けなさい。 そして神への忠誠を誓うのです。
----	---

[2] 村の端にて

村の端まで来ると、突然雷が落ちて、ソーサリアンの行く手を遮る。

ソーサリアン	空は晴れあがっているのに、落雷だと…… これも大いなる神ユイターの怒りなのだろうか。
--------	---

[3] 酒場に戻ると…

(発生条件) 落雷のイベントを見ること。すべての人と話していること。

おやし おお、旅の方、いいところへ来なすった。
じつは、さっき倉庫の奥から最後の葡萄酒が見つかってね。
<神々の庭園>まで何本か届けてほしいんだ。
最後の酒まで貢いだとなれば、神々の父も哀れみを催し賜うはずだよ。
なあ、そうは思わないかね？

解説 <葡萄酒>×5を手に入れた。

おやし これまでもありったけの酒を貢いだのだが、なぜ機嫌は直らないのだろう…
シャーマンは、わしが貢物を渡して以来、何も言ってこないし…

[4] シャーマンの家の前まで来ると…

(発生条件) <葡萄酒>を入手していること

シャーマン …<神々の庭園>に向かう？
やめておきさない。
祈りも貢ぎ物も、人の願いはもはや神には通じないのです。
命を無駄にすることはない。
貢ぎ物は私に預け、ペンタウアに帰るのです。
今ならば、まだ間にあう。

[5] 村の端にて

(発生条件) <葡萄酒>を入手していること

解説 青天の落雷はやんでいる。今ならば、<神々の庭園>に入れそうだ。

[6] 山岳地帯に入ると…

解説 魔物の攻撃が激しくなってきた。
<葡萄酒>の瓶が割れないよう、気をつけて進め。
敵の攻撃や地形のダメージを受けるたびに、瓶は割れてしまうぞ。

手持ちの<葡萄酒>は5本。
すべての瓶が割れる前に、山岳地帯を抜けなければならない。
ジャンプを繰り返して岩棚を飛び移りながら、上に登っていく。
岩棚の一部には、逆さつららもあり、落下すると大ダメージ。
逆さつららのない箇所も一定以上高いところから落ちると、<葡萄酒>が割れる原因になるので要注意。

不定期に竜巻や雷が発生し、ソーサリアンを襲ってくる。
村の入り口ではまた落雷が復活しており、戻ることはできない。

[7] 山岳地帯の途中

ところどころに神々の石像が立っている。
像を調べると、体力／魔法力を回復できる。ただし、ユイターの石像だけは瘴気が登っており、触れると<呪いのトラップ>にかかるので要注意。
以下は、石像を調べた時のメッセージ。

解説（共通）	神々を祀った石像だ。石像の足元には文字が刻まれている。
解説	ノーネーム。ユイターの居城を護る門の神
解説	デュオン。美酒と美女を好む酒の神にして、博学の王
解説	ペトス。<神々の庭園>を造りし、鍛冶の神
解説	フェリス。太陽の神にして、ユイターの息子
解説	ビヌス。天地全ての美を司る女神
解説	ユイター。大いなる神にして、すべての神の父たる至高の存在

[8] 山岳地帯、中間地点。

崖の陰に女の子が倒れている。近づいてみると…

解説	人間の女の子が倒れているようだ。 魔物に襲われたのだろうか。怪我をして意識を失っているようだ。
ソーサリアン	このままにはしておけない。連れていこう
解説	<怪我をした女の子>を背負った。

以降、山岳地帯の後半は、<怪我をした女の子>の重量によって敏捷性が低下した状態で進まなければならない。

[9] 山岳地点、終盤。ある地点を通り過ぎると…

ソーサリアン	あ……！
解説	<赤い種>を落としてしまった。 種は岩場の中へ吸い込まれるように消えていった。

[10] 山岳地帯、終盤 (2)

解説 | ふと登ってきた辺りを見下ろすと、岩の間から樹が生えている。
さっき落とした種が芽を出したのだろうか。

[11] 山岳地帯を抜け、天上への門

門の前には、門の神ノーネームが立っている。

門の神 | 大いなる神ユイターは、お心がすぐれぬのだ。
ここから先は、何人たりとも通すわけにはいかん。
さっさと帰れ！
……と言いたいところだが、いいものをもっているじゃないか。
その葡萄酒のことだよ。

残っている葡萄酒の本数によって、以降のイベントは変化。

◆2本以上

門の神 | それをくれたら、特別にこの門を通らせてやるが、どうするかね？
解説 | <葡萄酒>を渡しますか？

[はい] を選択すると…

門の神 | 殊勝な心がけだな！では、門を開いて進ぜよう…

[いいえ] を選択すると…

以降、(2) と同じイベントが発生。

◆1本

門の神 | なんだと、ユイターへの供物だと？
わしへの供物がないとは、なんという不心得な者どもではないか！
供物を捧げに来たとあれば、通さぬわけにはいかぬがタダとも言えぬ。
なに、いくら払えば良いかだと。
よもや神たる身が人の子から金をとるわけがなかろう！
そうさな、儂と軽く運動してくれれば、それで良いことにしてやろう。
ここは寒くてかなわんのだ……参るぞ！

解説 | 門の神が襲い掛かってきた！

門の神と戦闘開始！

勝利すると…

門の神 | うむむ、わしも鈍ったか…
だが、十分に暖まらせてもらった。
では、門を開いて進ぜよう…
ああ、待て待て。
これは楽しませてもらったお礼だ。また遊びに来るが良いぞ。

解説 | 10Gold をもらった

敗北すると…

門の神 | ん、悔しいか？末席とはいえ、神の椅子に座すもの。
まだまだ人の子には負けぬよ。
とはいえ、わしが暖まるには十分な戦いであった。
では、門を開いて進ぜよう…

◆0本

門の神 | なんだ、供物の＜葡萄酒＞をすべて割ってしまっただと？
気の毒だが、それではこの門を開くわけにはいかんな。
下界に戻って、出直してくるが良いぞ。

画面は切り替わって、下界の村。酒場に向かうと…

おやじ | おや、早かったね。神々の父には会えたかね。
 え、なんだって？魔物に全部割られてしまったって？
 …まあ、仕方がないさ。俺たちはもう神に見捨てられてるんだからな。
 ああ、お前さんがたにもご苦労をかけたね。
 少ないが、これはお礼だ。持ってってくれよ。

解説 | 1 Gold を手に入れた。(Game Over)

[12] 門の神に門を開いてもらい、先に進むと…

強風が吹きあがる断崖絶壁に出る。

解説 | そのとき、颯風の轟きとも山の唸りとも知れず、低い苛立った声が響いた。
 ユイター | なんだ貴様は…！
 ここはお前のような者の来るところではない、立ち去れ！

ひときわ大きな竜巻が崖下から吹き上げ、空中に放り出される。画面暗転。

[13] 山岳地帯の中間地点（地面から聳える高い樹木の枝）

<赤い種>を落とした地面から高い樹が伸び出ている。

地面（木の根元）からスクロールして、樹木の途中に引っかかっているソーサリアン。

解説 | これは…
 あの<赤い種>が育ったものだろうか。
 天にも届かんばかりの樹木に育っている。
 どうやら無事に助かったのも、この樹がクッションになってくれたおかげのようだ。

ソーサリアン | それにしても高い樹だな…上には、何があるんだろう…？

大木を登っていく。

途中、左右に枝が伸びているが、現時点では以下のように表示されて進めない。

解説 | 怪しげな虫がウヨウヨしているようだ。
 ひとまずは無視して、先に進んだ方がよさそうだ

[14] 樹木を上に登り、厚い雲を抜けると<神々の庭園>

ソーサリアン | 雲の中に神殿が……これが、<神々の庭園>なのだろうか？

以降、神殿に住まう神々を訪れる。

前作と異なり、天上界は荒れ果てており、床が抜けているところ、壁の一部が崩れているところがあったり、魔物が断続的に襲って来たりするので、ある程度、アクション的な操作が必要となる。

[15] 酒の神デュオン

酒の神	なんだお前は…！ ここを酒の神デュオンさまの部屋と知って、入ってきやがったのか。 挨拶代わりもなしでくるとはふてえ野郎だ。
酒の神	なんだと、貢ぎ物の〈葡萄酒〉があるだと…？ ふん、酒の神にそんな安っぽい酒を呑ませようってのか。 とんでもねえ、とんでもねえ話だとは思わねえか？？
酒の神	いいか！？庭園の東の泉で〈葡萄酒〉を捧げて来い。 泉の力ならば、そんなチンケな〈葡萄酒〉でも〈黄金の酒〉に変えてくれるだろうぜ。
酒の神	そうだ、酒を持って来るまで、その女は預かっておくぜ。 さあ、さっさと行ってきな。
解説	〈怪我をした女の子〉を奪われた。

[16] 神々の庭園東。泉への入り口の架け橋

解説	橋げたには〈魔法の泉へ〉と書かれている。 しかし、橋は何ものかによって壊されており、渡ることはできそうにない。
----	--

[17] 鍛冶の神ペトス

(発生条件) 橋が壊れていることを確認済み

鍛冶の神	誰じゃ、お主は…！？ ここは人間の立ち入るような場所ではないぞ。
鍛冶の神	なに、〈魔法の泉〉に行きたい、じゃと？ ふむ……ふむ…… 本来ならばお前たちが立ち入って良いような場所ではないのじゃが…… 渡りに船とはこのことなのかもしれんな。 よし、ひとつ頼まれてはもらえんじやろうか。

[はい] [いいえ] を選択。

◆ [はい] を選択すると…

鍛冶の神 | お前たちも知ってのとおり、神々の父ユイターが怒り賜うてから、
 <神々の庭園>もすっかり荒れ果ててしまった。
 天上界に妖が現れるなど、それこそ以前には想像もできなんだことよ。
 <魔法の泉>への架け橋も、妖が破壊してしまったのじゃよ。
 じゃが、修復しようにも<炎の種>がなくては、釘の一本も鍛えられぬ。
 そこで、どうじゃろう。
 庭園の最上層にいる太陽の神フェリスに伝えてほしいのじゃ。
 鍛冶の神ペトスにひとつ<炎の種>を分けてはもらえんかとな。
 もし持ってきてくれたら、お前たちが<魔法の泉>の立ち入ることも
 許してやらんでもない。

◆ [いいえ] を選択すると…

鍛冶の神 | お前たちのような人間に頼んだわしが、愚かであったよ……

[18] 太陽の神フェリス

解説 | 太陽の神フェリスがため息をついて立っている。
 何か悩んでいるようだ。
 どうすればいいのだろう……
 そんな言葉を繰り返している。

太陽の神 | なんだそなたは…？どこから来たのだ！？
 もしや…あの忌々しい大木をつたってきたのか。
 ここは人間の……
 なんだと、ペトスに頼まれて<炎の種>を…？
 わかった。好きなだけやろう。
 用がすんだら、さっさと出ていけ。

解説 | <炎の種>をもらった。
 そのままでは持てそうもないので、とりあえず<大鍋>に入れていこう。

太陽の神	<p>なんだ、神界の神器を粗末な鍋に入れるのか。</p> <p>……まあいいさ、特別に＜天蜘蛛の糸＞で取っ手に括ってやろう。</p> <p>しばらくは持つはずだが、炎が鍋に触れたりすると、燃えてしまうはずだ。</p> <p>気を付けろよ。</p>
ソーサリアン	<p>ありがとうございます</p>

以降、鍋の取っ手に吊り下げられた＜炎の種＞が画面の右上にウィンドウ表示 (map.ppt P.2)。

解説	<p>＜炎の種＞は激しくジャンプしたり、魔物からダメージを受けると振り子のように振れるので注意しろ。</p> <p>大きく種が振れて、鍋の壁面に当たってしまうと、そのまま燃え尽きてしまうぞ！</p> <p>＜ヴィイタ＞を左右に傾けることで、鍋を傾け、振動を抑えることができる。</p>
----	--

以降、ミニゲームスタート。

鍋が＜炎の種＞によって燃えないようにバランスを取りながら、鍛冶の神のところまで戻ること。

鍋が燃え尽きて、＜炎の種＞を失ったら Game Over。

太陽の神	<p>待て！</p> <p>出ていく前にひとつだけ頼みたいことがある。</p> <p>わたしは美の女神ビヌスに惚れておってな……</p> <p>彼女の好きなもので気をひこうかと思っておるのだが、それがなにかわからんのだ…そこで、それとなく他の神々に聞いてほしい。</p> <p>いいか、頼んだぞ。</p>
------	--

[19] 再び鍛冶の神ペトス

(発生条件) 太陽の神から＜炎の種＞をもらっていること。

鍛冶の神	<p>おお、ご苦労であった。</p> <p>これで、天の架け橋も修復できるであろう。</p> <p>だが、いかにわしとてすぐにとはいかぬ。</p> <p>ユイターの目に付かぬところで、しばらくゆるりとしているが良からう。</p>
------	--

鍛冶の神 | なに！？
 美の女神の気をひくにはどうすればいいか、じゃと。
 人の身であまり高望みはせぬが良いぞ。
 …ん、まあ良いさ。
 あれは、＜ユイターの杖＞になる＜赤い果実＞に目がなくてな。
 それを贈れば、人間とは言え、すこしは興味を抱いてはくれるかもしれぬ。
 保証はせぬがな。フォフォフォ……

[20] 大木＜ユイターの杖＞の探索。

(発生条件) 鍛冶の神に＜赤い果実＞のことを聞いている。

大木を降りていくと、さきほどは入れなかった左右の枝に渡れるようになる。

「紅玉の謎」のような上下アップダウンのあるステージ。茂みや木の洞に抜け道が用意されていたり、毒槍の罠があつたりするので、注意深く探索する必要がある。

梢には、甲冑を纏った虫がそちこちを徘徊しているが、攻撃&魔法共に無効なので注意すること。また、ところどころには霧で周囲が見えにくい個所があるので、枝を踏み外さないように注意する必要がある。

枝の先端まで到達すると…

解説 | 仄かに朱く輝く実が、たわわとなっている。
 あれがペトスの言っていた＜赤い果実＞だろうか。
 ＜赤い果実＞を手に入れた。

ソーサリアン | ん……！？

解説 | ＜赤い果実＞を手にした途端、虫たちが騒めきはじめたようだ。
 どうやら＜赤い果実＞を採ったことを怒っているらしい。

ソーサリアン | 逃げろ！

虫たちが追いかけてくるので、これを避けながら枝の密集地帯を抜けていく
 (倒せないで、ひたすら逃げるしかない)。

虫に当たると……

ソーサリアン | あ……！

解説 | 虫に体当たりされた勢いで、＜赤い果実＞を下に落としてしまった！

その場合は、＜赤い果実＞をまた取りに行かなければならない。

[21] 再び太陽の神フェリス

(発生条件) ＜赤い果実＞を入手済み。

解説	＜赤い果実＞をフェリスに渡した。
太陽の神	<p>おお、よくやったぞ！</p> <p>女神に、この果実を渡せばよいのだな。感謝するぞ。</p> <p>これを受け取るが良い。</p>
解説	20 Gold をもらった。
太陽の神	<p>しかし、大いなる神ユイターもひどいことをするものだ。</p> <p>なにがあったのかは知らんが、あれはほとんど八つ当たりだな。</p> <p>天上界も見てのとおり、散々なありさまだしな。</p> <p>子供でもあるまいし、いい加減、機嫌を直してほしいものだよ。</p> <p>そういえばビヌスが豎琴を用いて、ユイターを鎮めると言っていたな。</p> <p>あれはどういうことなのだろう……</p>

[22] 鍛冶の神ペトス 3 回目

(発生条件) フェリスに＜赤い果実＞を渡していること。

鍛冶の神	<p>おおおお、待っておったぞ。</p> <p>ようやく架け橋の修理が終わったところじゃ。</p> <p>また妖どもが現れる前に、早く用を済ませてしまうが良い。</p>
鍛冶の神	<p>しかし、大いなる神ユイターもいい加減、機嫌を直してもらえんものかのう。</p> <p>なにがあったと……？</p> <p>いや、わしも詳しいことは知らぬのだよ。</p> <p>ただ、あれは、地上の巫女がユイターに供物を届けた後であったかの。</p> <p>ユイターが蒼褪めて地上を見下ろしていたのが妙に記憶に残っておるよ……</p>

[23] 架け橋を渡って＜魔法の泉＞へ

(発生条件) 鍛冶の神から修理が終わったことを聞いた後

泉のほとりの東屋には、美の女神ビヌスが立っている。

美の女神 | あなた、人間ね…？どうやってここまで登ってきたの？
 え、＜魔法の泉＞に＜葡萄酒＞を浸したい？酒の神に頼まれて…？
 こんな時なのに、デュオンにも困ったものね……
 お酒を呑んでる場合ではないでしょうに……

美の女神 | まあいいわ。今の私はそれどころじゃないんですもの。
 あなたがたのお好きになさいな。
 でも、泉もすっかり魔物が棲みついてしまったわ。
 泉に近づくなれば、十分にご注意なさい。

[24] ＜魔法の泉＞にて

(発生条件) 女神と話した後

解説 | ＜葡萄酒＞の瓶にロープを結んで、＜魔法の泉＞に投げ入れた。
 だが、泉の中には凶暴な顔をした魚が泳ぎまわっているようだ。
 魚に＜葡萄酒＞をとられないように瓶は左右上下に動かさなければならない。
 瓶は＜ヴィイタ＞を左右上下に傾けることで移動できるぞ。

ミニゲーム、スタート。

泉に投げ込まれた瓶は、Vita の左右上下傾き具合によって左右に移動できる。

魚の動きに合わせて、瓶を上下左右に動かしていく。

一定時間、魚の攻撃を避けきると…

解説 | ＜葡萄酒＞が黄金の耀きを帯び始めたようだ。もういいだろう。
 ＜黄金の酒＞を手に入れた。

[25] 美の女神ピヌス再び

(発生条件) ＜黄金の酒＞を入手後

美の女神 | ＜黄金の酒＞を手に入れたのね。
 では、はやくデュオンのところへ持っておいきなさい。
 泉の力もすっかり弱まってしまった。
 たぶん、その耀きもそれほど長くはもたないはずだわ。

美の女神 | え、ユイターの怒りをなんとかできないか、ですって？
 それは、私もずっと試みてはいるの。
 でも、ユイターの耳には私たち神々の声すら届かない。
 あそこまで彼が怒るなんて…いったいなにがあったのかしら……？

美の女神 | 怒りを鎮める一番の方法は、そこにある豎琴を弾くことだわ。
その豎琴から出る音楽を聴いた者は、心が穏やかになるの。
でも今、音楽の神がいなくてね……
弾ける人を探しているの。

[26] <黄金の酒>をデュオンのもとに運ぶ

解説 | ビヌスが言っていたように、<黄金の酒>は一定の時間が経つと、
もとの<葡萄酒>に戻ってしまうぞ。
耀きが消える前に、デュオンのもとへ<黄金の酒>を届けろ！

画面の右上で 100 秒カウントダウンが始まる。
カウントがゼロになる前にデュオンのもとへ行くこと。
もしも過ぎてしまうと…

解説 | <黄金の酒>は、ただの<葡萄酒>に戻ってしまった……

その場合は、もう一度、<魔法の泉>で<黄金の酒>を作り直す必要がある。

[27] 酒の神デュオン再び

(発生条件) 100 秒以内にデュオンのもとに着いた場合

解説 | <黄金の酒>を渡した。
酒の神 | おお、遅かったじゃねェか。
え、ビヌスが眉をひそめてたって？
ごちゃごちゃ言うなってんだ。
酒がねえ人生なんて何が楽しいものかよ。
この酒は、俺の一番のお気に入りなんだ。
ありがたく頂戴するぜ。
酒の神 | プハーッ……ああ、うめえ、これだこれ。
さて、始めるかね。
え、何を、だって？
決まってるじゃねェか。この怪我をしたお嬢ちゃんの治療だけ。
酒は百薬の長と言ってな。
この酒なら、こんな怪我もすぐに治っちまう。

酒の神 ん！？
 もしかして、お前ら、俺が呑みたいだけで、
 こんなことをさせたとか思っちゃいなかったか！？
 まったく、とんでもねえ、とんでもねえ奴らだぜ！
 まあ、いいさ…俺は勘違いされやすいんだ…
 さあ、酒を吞ませて……

解説 女の子に酒を飲ませると、みるみる血の気が戻ってくるようだ。
 女の子が目を開いた！

女の子 え……ここは、どこなの…？

解説 ソーサリアンは、これまであったことをすべて話した。

女の子 そうだったの……人間が＜神々の庭園＞まで登ってきたなんて、
 信じられないけど、眼の前に神さまがいるんだから、
 信じないわけにはいかないわね。
 それと、まずはお礼を。ありがとう。
 あたしはアンナ。見てのとおり、旅の吟遊詩人よ。
 伝説を求めて、＜神々の庭園＞のあるという山麓を訪れたのだけどね。
 魔物たちがあんなにいるなんて思ってもいなくて。
 逃げているうちに崖から落ちて、あとは覚えていないのよ。
 ねえ、ここであったのも何かの縁だわ。
 私を連れて、ここを案内してよ。

酒の神 どっちにしろ、下界まで連れてかなきゃいけないんだ。
 いいんじゃないか。
 俺は＜黄金の酒＞をもう一杯やりたいんでな。
 そろそろ出てってくれとありがてえ

解説 ＜アンナ＞が仲間に入った。

[28] 美の女神ビヌスの東屋

(発生条件) アンナを仲間に連れてきていること。

美の女神 あら、また来たの！？
 いつまでもここにいると、そのうちユイターが現れて追い出されるわよ。

美の女神 …その女の子、あなたは吟遊詩人ね。
 もしかして、この豎琴をひけないかしら？

アンナ 変わった豎琴ですね。ちょっと貸してみてくださいな。
 弾いてみます。

8本の琴線が付いた豎琴がサブウィンドウで表示される。

解説 | <銀の豎琴>を受け取った。
音色に合わせて対応する琴線の色が反転するので、
<ヴィイタ>の背面パッドで豎琴を弾いてみよう。

◆音色に合わせて豎琴をうまく弾けると…

美の女神 | 綺麗な音色……心が澄み渡るようだわ
これならばユイターの気をなだめることができるかも…
ねえあなた、お願いできないかしら？
ユイターのところへ行って、その曲を弾いてもらいたいの。
きっと彼は自分の行いをやめて、人々に要らない不安を与えなくなると思うの。
そうすれば、下の村人たちもまた平和な暮らしができるようになるわ。

◆演奏に失敗すると…

美の女神 | これではユイターを鎮めるのは難しいかもしれないわね……
でも、これを弾けるのは、いまはあなたしかいないの。
もう一度、弾いてごらんなさいな

[29] 大いなる神ユイターの声が聞こえた断崖絶壁。

ソーサリアン | 大いなる神ユイターよ、貴方に豎琴の演奏を届けます

8本の琴線が付いた豎琴がサブウィンドウで表示される。

解説 | 音色に合わせて対応する琴線の色が反転するので、
<ヴィイタ>の背面パッドで豎琴を弾いてみよう。
さきほどよりも長い音楽なので、要注意だ。

音色に合わせて豎琴をうまく弾けると…

ユイター おお、なんと素晴らしい音色じゃ。
このような見事な音楽は、今までに聞いたことがない。
まるで心が洗われるようじゃ。
……考えてみれば、わしはなんと恥ずかしいことを……
大切な腕輪をとられた腹いせを、人間たちに向けてしまうとは……

ソーサリアン 神々の父よ、どういうことですか！？

ユイター おしえてやろう、真実を。
あれはひと月ほど前のことだ。
いつものとおり、下界の巫女が我に供物を捧げにやってきたのだ。
わしもいつものことと、気にもせずに腕輪の手入れをしておった。
手入れをしているうち、いつかわしはうとうとと眠ってしまった。

ユイター 目が覚めた時、眼の前にわしの腕輪を手に嵌めた巫女が立っていた。
当然、わしは女に腕輪を返すよう言った。
その腕輪は、人間が持てば不老不死はおろか、
わしらと同じ力を得られる大切な神器じゃからな。
だが、その女は不敵な笑みを浮かべ、こうつぶやいたのだ。
お前たちを支配してやると。
そしてまやかしの呪文を用いて消え去ったのだ。
あれは魔性に心を奪われ、闇に堕ちた者。
お主も知っておろう。この下の村におけるシャーマンのことじゃ。

ソーサリアン なぜすぐに取り返そうとはしなかったのですか…！？

ユイター ふん、できるものならとっくの昔にやっておるわ。
だが、あの女は腕輪を使って、強力な結界を張っておるのだ。
迂闊に近づいたら、わしとて存在そのものがこの世から消え去ってしまう。
誰もあの結界を通ることはできぬのだ

ソーサリアン では、腕輪を取り戻す方法はないと…

ユイター | いや、手はある。
 所詮、あの巫女は人の身にすぎぬ。
 長く神の道具を身に付けていたことで、その現身は滅びつつある。
 おそらく、今のこの時期であれば、奴の力も弱っていることだろう。
 この時期を逃せば、奴は現身を捨て、霊体として新たな形態に進化
 してしまうことであろう。
 そうなれば最後、今度こそ誰も手を出すことができぬようになってしまう。
 どうだろう。
 長く人の子らを苦しめて頼める義理ではないが、
 巫女を…エビルシャーマンを、お前たちの手で斃してはくれぬか。

[はい] [いいえ] を選択。[はい] を選択すると…

ユイター | そうか、やってくれるか。
 では、この吟遊詩人も連れていくが良い。
 おそらく<銀の竖琴>の音色が、奴の力を弱めてくれるはずじゃ。

[30] 画面暗転し、麓の村入口（星が妖しくきらめく夜空）。

巫女の家には、巫女の姿は見当たらない。

解説 | 巫女の姿はどこにも見えないようだ
 アンナ | おかしいわね。
 なんだか村の雰囲気もおかしいし、なにより人の気配がしない…
 ソーサリアン | ……

それぞれの家を訪れるが、村人は一人もいない。
 最後に酒屋にいくと、ようやく酒屋の主人が見つかる。

おやじ | やあ、久しぶりだね。いままでいったいどこに行っていたんだね！？
 ソーサリアン | 神々の父に会ってきたんです。
 彼から聞いた話では、彼が怒っている原因はあのシャーマンにありました。
 おやじ | なんだって！？詳しく話してくれ。
 ソーサリアン | シャーマンは天界の秘法を盗み、その力を持って神に対抗する
 つもりなんです。巫女の居所を……

おやじ | そう、そうかいそうかい。
 そこまで知ってしまったのなら、仕方がない。
 そうさ、あたしは神となって天界に君臨するのさ！

解説 | とその時、酒屋の主人の目が妖しく光り…

ソーサリアン | うわっ！？

解説 | 振り降ろされた棍棒を、ソーサリアンは危ういところで避けた！

おやじ | あと少し、あと少しなのさ。お前たちなどに邪魔はさせないよ！

解説 | どうやら酒屋の主人は、巫女に操られているようだ。

傷つけることはできない。峰打ちで気絶させるしかないだろう。

攻撃魔法は使えないぞ！

以降、おやじの攻撃を避けながら、物理攻撃で斃す。

酒屋の外に出ると、他の村人たちも現れ、同じように襲い掛かってくる。

そして、村の上空からはエビルシャーマンが現れる。

シャーマン | 忌々しいペンタウァ王の手先、神々の犬どもめ！
 神に見捨てられたこの地で、朽ち果てるが良い！

[31] エビルシャーマンとの戦闘開始！

アンナ | <銀の豎琴>で彼女の力を弱めます。その隙になんとかしてください。

アンナはパーティ離脱し、豎琴を弾きはじめる。

解説 | 豎琴を弾いているアンナを護りながら、巫女を斃せ。

ただし、村人は一定時間が経過すると甦ってくるので、要注意だ！

アンナが死亡した場合は Game Over。

無事にエビルシャーマンを斃すと、村人はすべて地面に倒れる。

シャーマン | キャアアアアア！

解説 | 塵となったシャーマンの腕から腕輪が外れた。

シャーマン | 無念無念、口惜しや……私は神に、神になるはず…だったのに——！

解説 | すばやく手を伸ばし、腕輪をとろうとした…

その時、腕輪はそのまま天上に引き上げられていく……

ソーサリアン | ユイターか！？

ユイター	よくやったぞ、勇者たちよ。 確かに、＜神の腕輪＞は返してもらったぞ。 ＜神の腕輪＞は人の身には毒にしかならぬでな。 お前たちを信じておらぬわけではないが、ここで引き取らせてもらうぞ。 なに、怒るな、怒るな。 これはささやかではあるが、農からの礼じゃ…
解説	空から指輪が降ってきた。 ＜神の指輪＞を手に入れた。
ユイター	腕輪の力の一部を抽出して作った指輪じゃ。 それならば、人の身にも十分に扱えるじゃろうて。 勇者よ、重ねて感謝する。 また＜神々の庭園＞に来るときがあれば、神々の父の名において歓迎するぞ…
解説	ユイターの声は遠ざかっていった。神は天に帰ったのだ。

[32] 画面暗転。昼間の村（酒屋にて）

おやじ	あれ、あんたはさっきの…おれはいったいどうしたんだろう。 実は、さっきシャーマンのところへ神様の様子を聴こうとでかけたんだ ところが、だ…そこで俺が見たものは、巨大になったシャーマンだった。 彼女は天にあるはずの腕輪を手を持って、俺をじろりと睨んだ。 とたんに目の前が真っ暗になって、気が付いたらあんたが立っていたというわけさ。
解説	ソーサリアンは、これまでのことを漏らさず店の主人に語ってやった。
おやじ	そうか、そんなことが…あんたにお礼を言わなきゃな… あの巫女も…なんで神になんかなりたがったんだろうな。 人の子が神になっていいことなんか、それほどあるとは思えんのだがね！

[33] エンディング（解放された村）

◆元気になった少女（道端にて）

泥だらけの顔がきれいに洗われて、道端を犬と一緒に走り回っている。

少女	神さまのお怒りがとけたの。 お酒や食べ物をあげたから、神さまのご機嫌が直ったの。 わ～～い！
----	--

◆病気だった老爺

老爺はベッドから起き上がっている。老婆の死骸はどこにもない。

老爺 | けさ起きたら、すっかり体が軽くなっているの。
ほれ、このとおりにゃ。

……なに、婆さん？
それが、墓を作ってやろうと思ったら、むっくりと起き上がったの。
大いなる神ユイターに抗議するんだと言うや、
そのまま走って出て行ってしもうた……
とめなくても良かったのかのう……

◆麦畑

麦が天高く育っている。

農夫 | あれあれ、まあまあ…
<ユイターの杖>を押しつけて、麦がこんなにも育ちまっただ。
いったい、どうやって収穫すればいいだか……

◆宿屋の主人

主人 | 酒屋の主人に訊いたよ。
あんたたちが巫女の悪巧みを防いでくれたんだってな。
あんたたちを誤解していたようだ。
すまなかったな。
これはほんのお詫びと、お礼のしるしだ。
また、この村にも遊びに来てくれよ。
解説 | 10 Gold を手に入れた。

奥には、相変わらずガマが座っている。近づこうとすると。

主人 | ああ、娘か……
その…なんだ。
一度は人間の姿に戻ったんだが、
神にお礼の御酒を納めに行った時にな……
また、やらかしちまったらしいんだ。

え、なにをって？
…
……
ユイターに思いっきり悪態をついたらしくてな。
また、ガマにされちゃった。
人間に戻れるのは、いったい、いつになるんだろうなあ……

ガマ | ゲコ

◆巫女の家

神父らしい男が立っている。

神父 | 神は怒っておられます。
日頃の邪な行いに、業を煮やしてしまったのです。
祈りは既に通じません。
欲を捨て、私のもとにすべての財産を預け……
…
……
……
え？その手口はもうばれてるって！？
ヒイイイ！お、お許しを～～！

◆怪我をしていた戦士

戦士がいた空き家には誰もいなくなっている。

解説 | 戦士がいた場所には、一通の手紙が置かれていた。
手紙 | 礼も言わずに、旅立ってしまう私の非礼を許してほしい。
神々の庭園が救われたのも、君たちのおかげだったときく。
行方不明だった仲間たちも無事に下山してきた。
この冒険で引退しようと思っていたが、
一度は捨てたこの命、
もう一度、人々のために使ってみようと思っている。
君たちとも、またどこかで出会うことを祈っているよ。
それまでは、死ぬでないぞ。

グ……ン

解説 | 署名の部分は掠れて、読み取ることができない。

結局、名前を聞くこともできなかったが、
生きていれば、またどこかで出会うこともあるだろう。
手紙の脇には、ひと振りの斧が置かれ、
もう一枚のメモが添えられていた。

メモ (追伸) これは、私からのささやかな礼だ。受け取ってほしい。

解説 <戦士の斧>を手に入れた。

(End)